

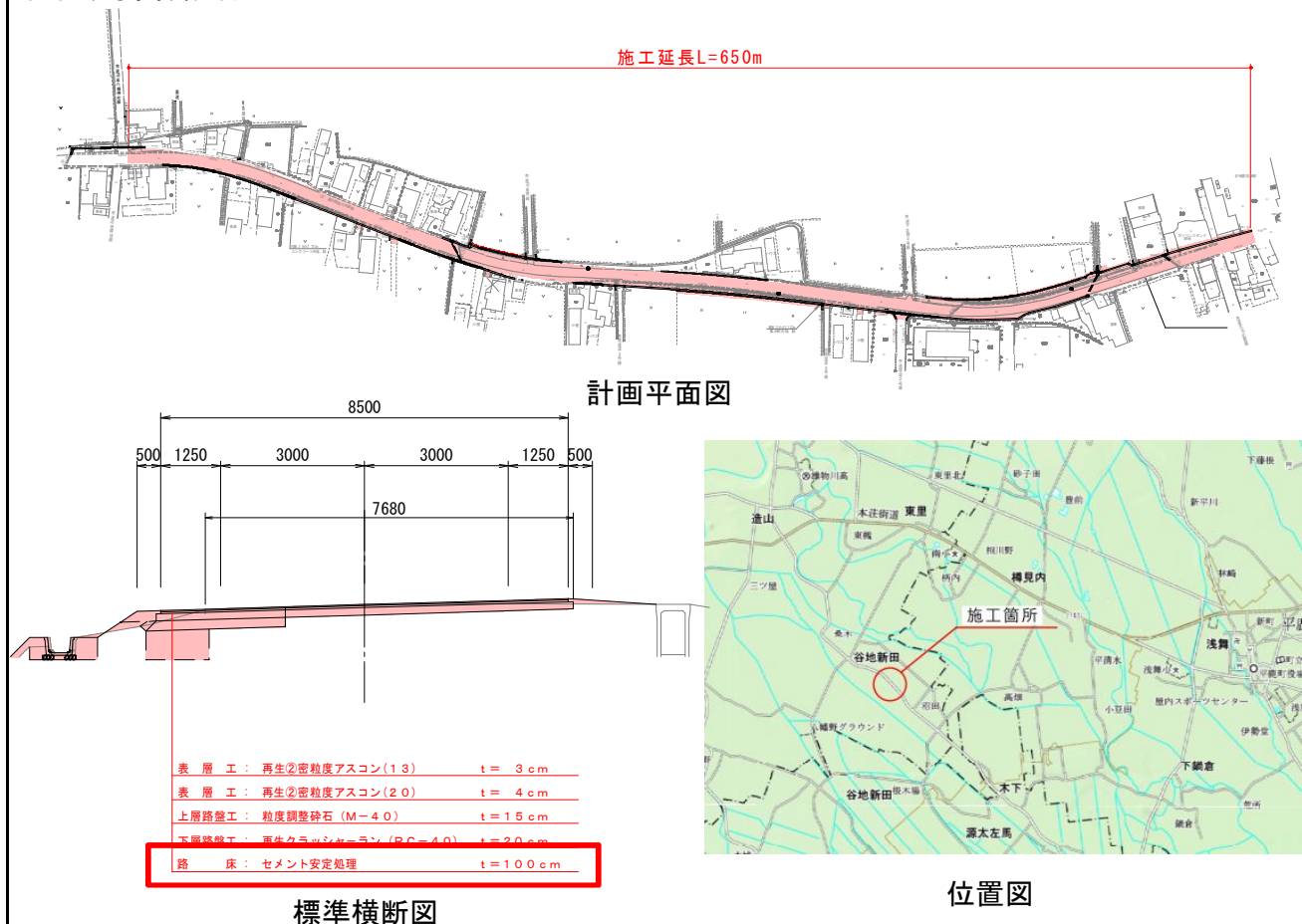
事業概要票

事例NO. 71

事例キーワード

事業名	地方道路等整備事業（建設）	セメント飛散防止
事業担当機関	平鹿地域振興局建設部企画調査課	
工事期間	平成26年8月1日～平成27年3月19日	
実施場所	横手市雄物川町下立野 地内	
事業概要	工事費	108百万円
	工事概要	施工延長650m、地盤改良1240m ² 、表層5770m ²
	事業の目的	本工事は、県道13号湯沢雄物川大曲線の現道拡幅による道路改良工事である。当該路線の起点側は、既に道路改良供用済みであり道路利用者の利便性は向上していた。しかし、当該箇所では未だ道路構造令に合致していない、急なカーブおよび幅員が狭い等の課題があり、道路改良を早急に実施し道路利用者の安全性・利便性の向上を図る必要性があった。
環境配慮の内容	<p>1. 施工概要 本工事は、現道路拡幅を実施する計画であるが、現況の路床のCBRが設計値を満足しておらず、路床の改良が必要であった。そこで、セメント混合による路床改良を実施するものとした。</p> <p>2. 環境配慮 施工箇所は、住宅および田畑が近接しておりセメント混合時の飛散対策の環境配慮が必要であった。そのため、セメント飛散防止を図るため施工方法を検討した。</p> <p>3. 施工方法の検討 施工位置でのセメント混合では、飛散を防ぐことができないため、改良しようとする土砂を施工現場から影響が無い場所（仮設ヤード）まで運搬し、セメントを混合した後、原位置にて転圧を行う施工方法を採用した。</p> <p>4. 結果 近隣住宅および田畑への影響を最小限に抑えることが可能となった。</p>	
施工後の状況	<p>①改良した箇所の沈下等は確認されておらず路床改良による十分な耐力を有していると考えられる。</p> <p>②近隣住宅および田畑からセメント混合による影響は確認されていない。</p>	

図面、写真、説明



図面、写真、説明



① 掘削状況

- ・道路拡幅する箇所には、住宅および田畑がありセメントの飛散防止が求められる。
- ・道路拡幅する部分の土砂の掘削状況

② 掘削土搬入

- ・セメントの飛散による影響が少ない場所(仮設ヤード)へ掘削土を搬入した。

③ セメント混合状況

- 合
・搬入した土砂にセメントを散布しバックホウにより混合している状況
- ・写真①で実施した場合、住宅および田畑への影響が避けられない。

④ 改良土転圧状況

- ・仮設ヤード混合した改良土を転圧している状況
- ・転圧ではセメントの飛散は確認されなかった。

⑤ 簡易支持力測定器によるCBRの測定

- ・改良土のCBRを測定し、規格値以上を確認